

高等部 総合的な学習の時間（進路学習） 学習指導案

日 時 平成20年12月3日（水）

10:30～11:20

場 所 高等部2年B組教室

1 単元名 すてきな大人になるために～こんなとき、どうする？～

2 単元の目標

- (1) 困った状況下での対応法や伝え方を知り、適切な方法で解決できる力を高める。
- (2) よりよいコミュニケーションを築くために、相手の気持ちや一般的マナーを考えながらやりとりする経験を広げる。

3 生徒と単元について

(1) 生徒について

本学習グループは男子2名、女子2名で構成されている。このうち女子1名は「やまばと園」（知的障害者施設）から通学し、他3名は自宅から通学している。今年度行った現場実習では、10日間一般企業において経験を積んだ生徒から、数日間福祉施設において軽作業を経験した生徒など実態は様々であるが、将来働く、自立するということに対して全員が高い関心を示している。

総合的な学習の時間（進路学習）においては、今年度から個々の実態やニーズに応じて学年でグループに分かれて学習を行っている。本グループでは、働く上で必要なことや、なぜそれが必要かなど身近な場면을想定したロールプレイングを主に取り入れ、確認を行ってきた。教師とのやりとりや友達の表現する様子を見ることで、必要性を自分で見出し、実習にも活かそうとする意識や意欲も見られた。日々の生活の中でも、相手を思いやる行動や言動が増えたり、温かいかわりができるようになっていたりなど、生徒たちの変容も見られる。またこれまでの実習を振り返り、自分の得意、不得意や課題点に自ら気付く場面も多く見られるようになってきている。

(2) 単元について

様々な学習を経て、働くことへの意欲はさらに高まってきているが、悩みや不安を上手く伝えられず実習中に体調を崩す生徒がいたり、友人同士のやりとりでつまづいたり、コミュニケーション面での課題は大きい。将来の生活において職場の同僚や友人同士など、いろいろな人とのやりとりは避けられないものであり、それがきっかけで仕事や生活への意欲や気持ちの安定が左右されることも十分にあり得る。将来充実した生活を送るためにも、自分の気持ちをわかりやすく伝える、相手とのやりとりを通して穏やかに解決するなど、よりよいコミュニケーションの獲得は必要であると考えられる。困った場面での対応法なども含め、適切なコミュニケーション方法を知り、今後の学校生活や社会生活で活かす中で、自己解決の力を高めていきたいと考え、本単元を設定した。

(3) 指導にあたっては、次のポイントに留意しながら進める。

A 学習内容を理解できる。

- ・具体的な場면을想像しながら、適切なコミュニケーション方法を理解できるよう、DVDや吹き出しカードなど視覚的教材を取り入れる。

B 生徒自身が考える、表現できる。

- ・自分なりの考えをもつことができるよう、やりとりのポイントをイラストで示したワークシートを用意する。
- ・考えたことを実践したり、その場に応じたコミュニケーションへと発展できるよう、教師とのロールプレイングを行う。

C 単元の構成につながりをもつ。

- ・「後期実習を振り返ろう」から引き出したそれぞれの課題を今回の単元で取り入れ、3学期は今回獲得したコミュニケーションをさらに深めていけるようにする。また今後社会に出たとき、自分や家族だけでは解決しきれないことが起こった場合に、外部の支援機関（者）もあることへ目を向ける学習へとつなげていく。

D 学んだことを日常生活へ活かす。

- ・学習内容を思い出して行動したり、自分で解決できる力を高めることができるよう、友達同士のやりとりなど場面を捉えた指導を行う。また教師が作為的に生徒が返答で困るであろう場面を作り、生徒の意思表示や行動を待つなどして、伝え方を確認し合える機会を作っていく。

4 指導計画（総時数 5時間 本時 2 / 5）

学習活動	時数	主なねらい
(1) こんなときどうする？ ～人をお願いしたいとき～	1	・丁寧な伝え方を知り、伝え方によって相手に与える印象の違いに気付く。
(2) こんなときどうする？ ～自分にとって難しいことを伝えたいとき、断りたいとき～	2 本時 (1/2)	・どのような伝え方が相手にとって納得できるか、気持ちよく受け止めてもらえるか、実践を取り入れながら考える。 (学校生活の場面、社会生活の場面)
(3) こんなときどうする？ ～困ったとき、悩んだとき、つらいとき～	1	・困った場面に遭遇したとき、どんな解決方法があるか、自分に合った解決方法は何か、教師へのインタビューや話し合いを通して考える。
(4) こんなときどうする？ 「コミュニケーションの達人」DVDを作ろう	1	・人に伝えることを通して、学んだことを確認しつつ、日常生活でも活かそうとする意欲を高める。

5 本時の計画

(1) 目標

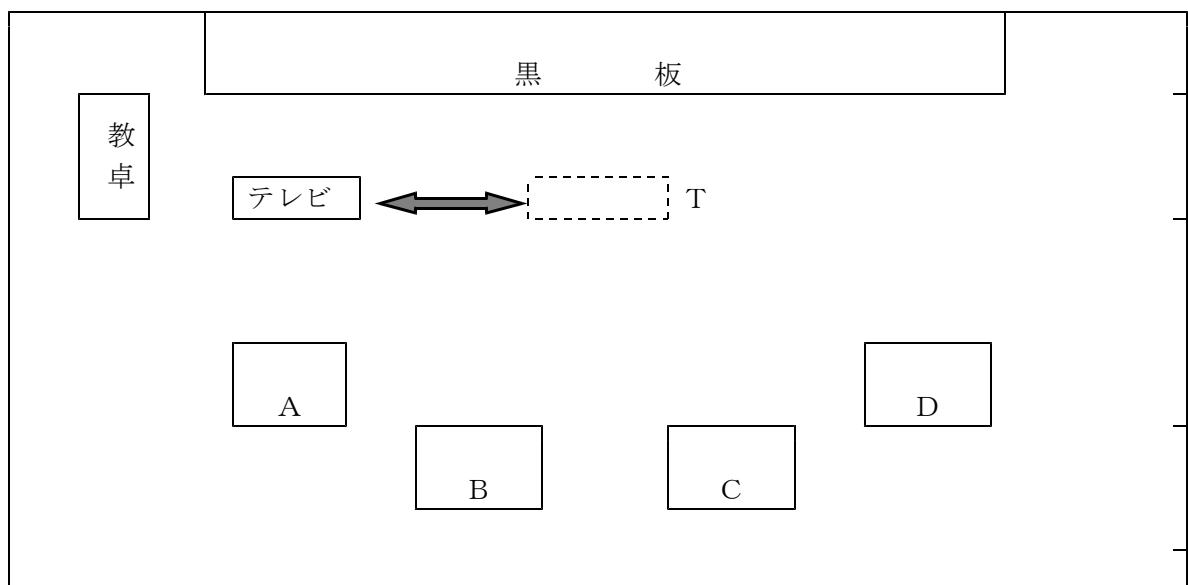
- ・相手がわかる、納得できる断り方を考え、実践する。

(2) 生徒の実態と個人目標

氏名	個人目標	単元に関する実態
A (女)	・断るポイントを押さえながら自分で考え、表現する。	・日々の生活や実習で困難なことにぶつかったときや不安が大きく募ったとき、自分で解決できず、体調を崩してしまうことに、自分で気付くようになってきている。 ・自分の考えに自信をもてない様子も多く見られるが、あらかじめ書き出すことで積極的に発表したり、意見を言ったりすることができるようになってきている。

<p>B (女)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の様子を見たり比較したりしながら、自分の考えをもち、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな仕事に興味をもっている。介護の実習を通して自分から話しかけることに苦手であることに気付いたが、他の職種で人とかかわる仕事も体験したいという意欲がある。 ・言われたこと、書かれたことをそのまま暗記しようとするが、実践することで納得したり、考えを深めたりできる様子が多く見られるようになっている。
<p>C (男)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて考え、ロールプレイングで自分なりに表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の職に就きたいという強い希望があるが、気持ちのむらがあり表面に出てしまうことなど、自分が苦手とする点を徐々に受け入れることができるようになっている。 ・完璧な回答を出したいために、周りの様子を伺いながら活動することが多いが、ロールプレイングでは状況に応じた言葉で、自信をもって表現できるようになっている。
<p>D (男)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の様子を見たり比較したりしながら、自分の考えを深め、ロールプレイングで表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就きたい職業はまだ決まっていないが、これまでの学習や実習を通して、自分から人に聞いたり、あいさつしたりすることが苦手だということに気付いている。 ・考えをまとめて書き出したり、発表したりすることに時間がかかるが、ロールプレイングでは自分なりに考えて即座に対応しようとする様子が見られる。

(3) 配置図



(4) 展開

	学習活動	教師の支援と動き	準備物
5	1 前時の復習 「人をお願いしたいときの伝え方」 ・○○してもらってもいいですか？ ・すみません、○○を教えてくださいませんか？	・前時学習したことを生徒たちの中から引き出せるよう、ポイントが2つあったことを伝え、確認しながら掲示していく。	・「お願いのしかた」フラッシュカード
23	2 こんなときどうする？ ～相手がわかるように断ってみよう～ ①「友達に断るとき」 ・DVDを見て状況をつかむ（'2） ・ロールプレイング（'10） ・ポイントを確認しよう（ワークシート記入）（'11）	・本時のテーマを押さえることができるよう、「相手にわかる」を強調して伝えながらタイトルを掲示する。 (ロールプレイング) ・場面そのものをイメージし、スムーズに表現できるよう、DVDの中で使っていた小道具も取り入れながらやりとりを行う。 ・挙手がない時は順番に指名していくが、【B】は友達の様子を参考にし自分の考えをもてるよう、最後に指名する。	・掲示用タイトル ・DVD ・小道具 ・吹き出しカード ・場面カード
15	②「先生に断るとき」 ・DVDを見て状況をつかむ（'2） ・ロールプレイング（'10） ・ワークシート記入（'3）	・【C】穏やかな気持ちで活動に参加できるよう、発言を受け止めたり、タイミングを見ながら適宜問いかけしたりする。 (ポイントの確認) ・相手がわかるためにはどうすればいいか、気付くことができるよう、生徒の考えでよかったところを挙げたり、マーキングしたりする。 ・生徒たち自ら納得できるキーワードを見つけることができるよう、ワークシートの空欄に入る言葉をみんなで考え、それぞれに問いかけながら埋めていく。	（黒板用） ・ワークシート
7	3 本時の振り返り	・生徒たちのよかったところを振り返りながら、ポイントを確認し、次時ではより丁寧な伝え方について学習することを予告する。	

(5) 評価

【生徒】・自分なりに考え、表現することや友達の様子を見ることを通して、適切な表現方法を知ることができたか。

・ロールプレイングを通して考えを深め、ワークシートに自分の考えを整理することができたか。

（生徒A、B）

・ロールプレイングを通して、自分の考えを深めたり表現したりすることができたか。

（生徒C、D）

- 【教師】・生徒が悩み、葛藤しつつ、自分の考えを深めることのできるような学習内容の組み合わせ、順序だてができたか。
- ・生徒が学習内容を理解し、積極的に活動に向かえるようなポイントを絞った発問ができたか。
 - ・生徒の理解を促すことのできるような、板書の整理、教材の精選ができたか。

高等部 進路学習の年間計画 (A、B、C、D)

- 【目標】
- ・ 自分の特性（得意なこと、苦手なこと）を理解し、卒業後にやりたい仕事や生活したい場を具体的に考える。
 - ・ 実際に計画を立てたり、体験してみたりする活動を通して、自立した生活のために必要な知識と技能を身につける。
 - ・ いろいろな人とのかかわりを通し、より良いコミュニケーションの仕方を身につけたり、人とかかわり合う楽しさを感じたりする。

	進路にかかわる行事	職業・実習	将来設計・自己理解	生活・余暇
4月			「プロフィール作り」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の好きなこと、得意なこと ・ 将来の夢 ・ 今年一年間がんばりたいこと 	
5月	・ 運動会	「すてきな大人になるために」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 先輩方の進路 ・ いろいろな職種、やってみたい職種 ・ マナー ・ あいさつ ・ みだしなみ 		「ボランティアの計画を立てよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちができそうなことを考え、何かの役に立ってみようという意欲をもつ。 ・ 具体的なアイデアを出し合う。
6月	・ 前期校内・現場実習	「前期校内・現場実習」について <事前学習> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分や友達の実習先を知る。 ・ 実習に向けて目標を立てる。 ・ 勤務時間、仕事内容について知る。 ・ 実習に必要な基本的事項を知る。 (なぜ働くのか？働く上でのルールを考えよう) 		
7月	・ 夏季休業	「ばあとなあを見学しよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校外学習の計画を立てる。 (日程・質問を考える・マナーなど) ・ 校外学習（職場見学） ・ 職場見学を振り返る。 (質問に対する回答・感想等のまとめ) ・ 一般事業所と福祉施設の違いを知る。 	「前期校内・現場実習」について <事後学習> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の実習の様子を学部に報告する。 ・ 実習の反省をする。 	「校外学習に行こう①」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習お疲れさま会の計画を立てる。 ・ 公共の施設、交通機関の利用に慣れる。 ・ 計画的に買い物をする。
8月				「夏休みの過ごし方」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みの過ごし方について確認する。 ・ 夏休みの家庭での仕事について考える。 ・ 計画を立てる。

9月

- ・ 宿泊学習
- ・ 特体連本大会

「後期校内・現場実習」について

<事前学習>

- ・ 自分や友達の実習先を知る。
- ・ 実習に向けて目標を立てる。
- ・ 勤務時間、仕事内容について知る。
- ・ 実習に必要な基本的事項を知る。

10月

- ・ 後期校内・現場実習

「後期校内・現場実習」について

<事後学習>

- ・ 自分の実習の様子を学部に報告する。
- ・ 実習の反省をする。
- ・ 自分に合う仕事とは何かを大まかに考える。

「夏休みを振り返って」

- ・ 夏休みの仕事達成度を振り返る。
- ・ 夏休みの生活を振り返る。

「宿泊学習に行こう」

- ・ グループの役割分担を決める。
- ・ スタンツの計画を立てる。
- ・ 自分の身のまわりのことを進んで行う。
- ・ 友達と協力しながら活動する。
- ・ 自然の中での活動を通し、体験を広げる。

11月

- ・ 稲養祭
- ・ 特文連文化祭

「職業ガイダンスを受けよう」 (一般事業所)

- ・ 基本的労働習慣について
- ・ 職場で求められる態度
- ・ これからの自分に必要なこと

「施設を訪問しよう」

～私たちにできること～

- ・ 自分たちができること（ボランティア）などを考え、計画を立てる。
- ・ プレゼントや準備物を作る。
- ・ 役割分担をし、練習をする。

12月

「いろいろな生活の場を知ろう」 (グループホーム)

- ・ 校外学習の計画を立てる。
(日程・質問を考える・公共の場でのマナーなど)
- ・ 校外学習
(サンワーク六郷見学)
- ・ 見学を振り返る。
(質問に対する回答・感想等のまとめ)
- ・ グループホームのよさ、難しさ
を考える。

こんなとき、どうする？～Part1～

- ・ 嫌なとき、困ったとき、断りたい
ときの伝え方と解決方法を知る。
- ・ 学校でのコミュニケーション、働
く場でのコミュニケーションを
考える。
- ・ 相手の気持ち、立場を考えながら
伝える練習をする。

「調理をしよう①」

- ・ 校外学習のスケジュール作り
- ・ 買い物、調理の計画
(簡単な昼食作り)
- ・ 校外学習
- ・ 調理実習の振り返り

12月	・ 冬季休業		こんなとき、どうする?~Part2~ <ul style="list-style-type: none"> 社会では、絶対に断らなければならない場面があることを知る。(キャッチセールス、悪徳商法など) 身近には将来の生活のサポートをしてくれる場があることを知る。(福祉事務所、ハローワークなど) 	「冬休みの過ごし方」 <ul style="list-style-type: none"> 冬休みの過ごし方について確認する。 冬休みの家庭での仕事について。 計画を立てる。
1月		自立した生活に向けて <ul style="list-style-type: none"> TPOに応じた服装や衣服の手入れについて話し合ったり、実践を行ったりする。 社会人として、いろいろなマナーがあることを知る。 		「冬休みを振り返って」 <ul style="list-style-type: none"> 冬休みの仕事達成度を振り返る。 冬休みの生活を振り返る。
2月			「一年間を振り返って」 <ul style="list-style-type: none"> 1年間を振り返り、自分の長所・短所について、これまでのワークシート等を活用し、振り返る。 友達のよさを見つける。 卒業後どんな生活をしてみたいか、ライフプランを考える。 来年度がんばりたいことを考える。 	「調理をしよう②」 <ul style="list-style-type: none"> バランスのとれた食事 調理の計画(簡単な昼食作り) 調理実習 調理実習の振り返り
3月	・ 卒業式			

※

総合 (全員)

総合 (グループ)

生活単元学習 (学級)

生活単元学習 (合同)